

奈良ホテル 大・中宴会場 照明改修



所在地：奈良県奈良市高畑町1096
 客室数：129室
 宴会場：6室、大宴会場「大和の間」：339㎡
 中宴会場「若草の間」：132㎡
 照明改修施工：株式会社ヤマハ商事
 照明改修完成：平成23年7月

S137

1909(明治42)年、関西の迎賓館として古の都・奈良で開業した奈良ホテル。
 1984(昭和59)年に開業した新館大宴会場と中宴会場の照明が、
 環境への対応と省エネ化を図るため、LEDに更新されました。

100年の時を経て、明治の華やぎを感じさせる名門ホテル

奈良公園の一角にあり、東大寺大仏殿、興福寺五重塔などを一望できる奈良ホテルは、明治・大正を代表する建築家、辰野金吾の設計による桃山御殿風檜造りの本館と奈良県吉野地方の建築様式である「吉野建て」を採用した新館からなっています。全室が緑豊かな中庭に面した新館は、大和文化の華やかさを表現したデザインが彩りを添えています。

最大200名収容の新館の大宴会場と70名収容の中宴会場の照明が、環境への対応と省エネ化を図るためにLEDに更新されました。

宴会場の照明をLEDに更新し、年間ランニングコスト比90%削減

大宴会場「大和の間」の照明は、既存では掘上天井内にIL100W9灯を1組としたシャンデリアが18基配列されており、そのシャンデリアの周囲にLW150Wダウンライトが配置されていました。今回の照明改修ではシャンデリアの電球のみをLED電球(消費電力7.1W、電球色)に置換え、ダウンライトはLEDダウンライト2000シリーズ(消費電力27W、電球色)に更新。それぞれ別回路とし、いずれも調光タイプの採用により様々なシーンが展開でき、雰囲気豊かな演出を可能にしなが、年間ランニングコストは既設と比べ約90%の削減、年間CO₂排出量は約39トンを削減しています。

中宴会場「若草の間」の照明は、既存ではIL100W4灯を1組としたシャンデリアとLW150Wダウンライトが配置されていましたが、大宴会場と同様に、シャンデリアはLED電球に置換え、ダウンライトはLEDダウンライト2000シリーズに更新。既設と同等の明るさを確保しながら、大幅な省エネとCO₂排出量の削減を図っています。

このほか、エレベーターホールのダウンライトおよびブラケットにLED電球を、トイレのダウンライトにもLED電球を採用しています。



LED照明に更新された大宴会場「大和の間」 シャンデリアにはLED電球を、その周辺にはLEDダウンライト2000シリーズを採用



LED照明に更新された「大和の間」の天井面 中宴会場「若草の間」の更新されたLED照明



エレベーターホールのLED照明 ダウンライトとブラケットの光源をLED電球に更新

LED電球に置換えたブラケット

LED電球に更新されたトイレのダウンライト

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
大和の間	LEDダウンライト2000シリーズ	LEDD-20007ML-LD9	72	LED 消費電力:27W
	LED電球	LEL-AW7L/D	18	LED 消費電力:7.1W
若草の間	LEDダウンライト2000シリーズ	LEDD-20007ML-LD9	32	LED 消費電力:27W
	LED電球	LEL-AW7L/D	48	LED 消費電力:7.1W
EVホール他	LED電球	LEL-AW8L	274	LED 消費電力:8.7W
		LDA3L-E17	178	LED 消費電力:3.4W